



昨年の元日、あの甚大な被害をもたらした能登半島地震が発生しました。当協会は従来、大規模地震災害時は、被災地の復旧・復興、特に測量事業を支援する活動を行ってきました。測量との関係において重要な被災状況や、復旧・復興への産官学の取り組みの広報にも努めてまいりました。

先の能登半島地震に際しても、日本赤十字社などへの義援金の拠出、技術的な相談対応や特別料金による測量成果の検定などの測量支援、当協会の月刊「測量」を共同で行いました。その成果はそれぞれの誌面、紙面で、独自の視点からの特別企画となりました。深く御礼を申し上げます。これを機にさまざまな場面で連

学生らの研究発表に輝く未来予感

日本測量協会

会長 清水 英範

誌への特別企画記事の掲載等を行いました。誌への特別企画記事の掲載等を行いました。

今回、新規の取り組みとして、月刊「測量」編集委員会と日刊建設工業新聞社が連携し、現地調査・取材の運営に参画しています。

が、本年度は来る1月29日、東京ビッグサイトで開催します。G空間EXPOでは近年、若手が設立した新進気鋭の会社からの展示や、大学生や高校生による研究発表が増えています。実に頼もしく、測量・地理空間情報分野の輝く未来を予感させてくれます。当協会はこのような次代を担う若者たちにとって、もっとも魅力的で意義ある協会となれるよう、関係する事業の充実・強化に努めてまいります。